

関係各位

一般社団法人 日本技術者連盟
会長 村上 雅人『欧州における原子力発電所のセキュリティ調査団』
派遣に伴うご案内

拝啓 時下益々ご清栄の段大慶に存じます。平素はご支援賜わり厚く御礼申し上げます。

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に伴い、重要社会インフラに対するサイバー攻撃が行われるとともに、原子力発電所が有事の際に「盾」となることが現実化するなど、世界的に原発のセキュリティ確保の重要性が再認識され、その適切な対応が喫緊の課題となっています。

こうした原子力発電所をめぐる環境の変化を踏まえ、日本技術者連盟ではこれまで7回に渡り、米国・カナダ・西欧・東欧などに調査団を派遣し、大きな成果を挙げています。今回は、英国を始めオーストリアとハンガリーの関連機関を訪問して、調査を行います。

ご参加頂ける場合は、以下のデータを一般社団法人日本技術者連盟宛 E-mail (gyomu1@jef-site.or.jp)にてお送りください。すぐに事務局よりご連絡申し上げます。

尚、お申し込み締切は、**2024年7月16日(火)**と致します。

1. 参加申込書（本案内最終ページ。エクセルデータで提出されたい方はお申し出ください）
2. 参加者の名刺（和文・英文共）
3. パスポートの顔写真部分のページのカラーコピー
（まだパスポートを取得されていない場合は、取得予定日をお知らせください。パスポートは帰国日より90日以上残存有効期間のあるもの）
4. メンバースト作成用 顔写真のデータ（顔がはっきりとわかるもの。パスポート取得時の写真でも可。）

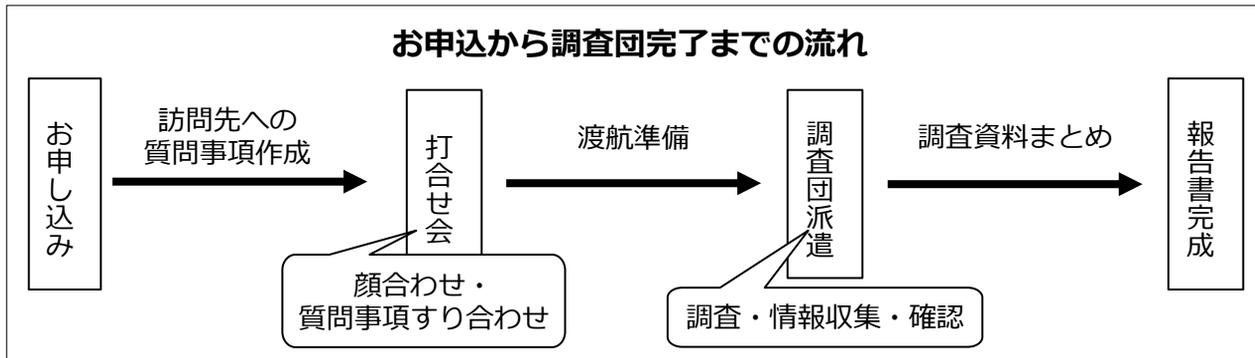
皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

※お申込みについて、稟議の都合上、締切日を過ぎる場合や参加者のご変更の可能性がございます場合には、お手数ですが事務局までお問い合わせ下さい。

【海外調査団/視察団へ参加する意義とは】

海外へ行って、見てみる、感じてみる、(Go and See) 自社の世界のみならず他業界を含めて現場に行き体験したり、組織の中でどのような活動をしているのか、どのような切り口で付加価値を伴っているかを聴いてみるのは大変有効である。自分が理解していないことを理解するためにも必要な行動でもある。また、参加団員相互の友好関係を通じて海外人脈の構築は二つ目の付加価値である。

一般社団法人日本技術者連盟
海外調査団/視察団推進センター

一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号
TEL: 03-6229-1946 FAX:03-6229-1940
E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp
URL: <http://www.jef-site.or.jp>
URL: <http://www.wkx21c.org>

『欧州における原子力発電所のセキュリティ調査団』 参加要項

1. テーマ : 『欧州における原子力発電所のセキュリティ調査団』
2. 期間 : 2024年9月21日(土)～9月29日(日) 9日間(予定)
3. 主催 : 一般社団法人 日本技術者連盟 (J E F)
4. 団長 : 内藤 香氏

公益財団法人核物質管理センター 元理事長
核物質管理学会 (INMM) フェロー
核物質管理学会日本支部 (INMMJ) 元副会長
一般社団法人日本技術者連盟 理事



■ 略歴 ■

- 1971年3月 東京大学大学院修士課程(原子力工学専攻)修了
1971年4月 科学技術庁入庁。
以来約30年間、主として原子力安全、保障措置、核物質防護等原子力規制業務に従事。
1988～92年2回にわたりIAEA(国際原子力機関)に勤務し、保障措置の分野で活躍。
(保障措置局開発・技術支援部長)。
1997～00年、01～06年
IAEA保障措置常設諮問委員会(SAGSI)委員を歴任。
核セキュリティ(核物質防護)分野では、原子力委員会原子力防護部会長として我が国の核セキュリティ確立方策をとりまとめたほか、原子力規制委員会核セキュリティ検討会メンバー及びAdSec(IAEA核セキュリティ諮問委員会)委員を歴任。
INMM(核物質管理学会)フェロー(2012年～2022年)、名誉フェロー(2022年～)、同日本支部副会長(2004年～2014年)。
2003年4月より(財)核物質管理センター専務理事
2012年4月 公益財団法人への移行に伴い理事長就任。(2014年6月退任)
2018年9月 一般社団法人日本技術者連盟 理事就任。

5. 調査項目 :

下の事項を参照しつつ、訪問機関毎に、団員の関心事項をもとに質問票を作成し、調査します。

■ サイバー・セキュリティ

内部脅威対策、サプライチェーン対策、インシデント対応/訓練、サイバー・セキュリティ文化の醸成・評価など

■ 核セキュリティ

内部脅威対策、緊急時対応/訓練、AI搭載の周辺監視システムの利用、核セキュリティシミュレーターの利用、核セキュリティ文化の醸成・評価、ドローン対策、オフサイト攻撃対策など

6. 予定訪問先及び概要：

下記より3～4か所訪問予定。訪問先は都合により変更になる場合もございますので、予めご了承下さい。

①EDFエナジー社

(英国)

イギリスの総合エネルギー企業。英国内の5サイト・9基の商業炉をすべて所有・運転している。

②Heysham 2 原子力発電所

(英国)

2024年に閉鎖が予定されていたが、EDFが英国で担っているエネルギー供給保証上の役割を担うものとして、運転期間の短期的な延長が検討されていることが明らかになった。また英国政府は、2050年までに原子力発電設備を2,400万kWまで拡大することを目指しており、Heysham原子力発電所は、新規建設可能なサイトとの1つとして指定されている。

③世界核セキュリティ協会 WINS (World Institute for Nuclear Security)本部 (オーストリア)

WINSは2008年に設立された国際NGOであり、核セキュリティのベスト・プラクティス共有のための国際的なフォーラムとして、様々なワークショップを世界各地で行っている。その目的は、核およびその他の放射性物質がテロやその他の犯罪目的に使用されないよう、核セキュリティに関わるすべての人々の専門性と能力を向上させることとしている。

④ハンガリー原子力庁 HAEA (Hungarian Atomic Energy Authority) 本部 (ハンガリー)

ハンガリーのエネルギー政策担当機関として、原子力関連の規制を担う。

⑤ Paks 原子力発電所

(ハンガリー)

ハンガリー唯一の原子力発電所。出力約50万kWのロシア型PWR：VVER-440×4基で、Ⅱ期工事（出力120万kWのVVER-1200×2基）の建設に向けた第一段階の作業として、サイトの準備作業が始まっている。パクス発電所の既存の1～4号機は旧ソ連時代に建設され、ハンガリーの総発電量の約5割を供給している。しかし、4基すべてがVVER-440の公式運転期間である30年を満了したことから、これらの運転期間を延長しながら容量の大きいⅡ期工事の5、6号機で徐々にリプレースしていく考え。

7. 募集人員：10名

8. 参加費：¥ 1, 850, 000 - (予定・税別 お申込金35万円を含む)

9. ホテル：一人部屋

10. 通訳・プロジェクトマネージャー：現地同行（参加5名以上の場合）

11. 総合事務局：株式会社アジア技術移転機構

東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号 TEL: 03-6229-1950

12. 運営実施：観光庁長官登録旅行業者

13. 申込方法：参加者のパスポートの顔写真のついたページのカラーコピー、名刺のコピー（和文・英文共）、参加申込書、顔写真データを、**2024年7月16日（火）までに**、E-mail（gyomu1@jef-site.or.jp）でお送り下さい。すぐに担当者よりご連絡申し上げます。

※稟議の都合上、お申込みが締切日を過ぎる場合や、参加者にご変更の可能性がございます場合には、お手数ですが、日本技術者連盟（電話03-6229-1946）までお問い合わせ下さい。

※打合せ会の日程につきましては、改めてご案内申し上げます。

14. 代金支払：総合事務局 株式会社アジア技術移転機構より請求書をご送付申し上げます。

期日までにお振込みくださいますよう、お願い申し上げます。



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂1302号

TEL：03-6229-1946 FAX：03-6229-1940

E-mail：gyomu1@jef-site.or.jp

URL：http://www.jef-site.or.jp

URL：http://www.wkx21c.org

欧州における原子力発電所のセキュリティ調査団

日 程 表 (案) 2024年9月21日 (土) ~ 9月29日 (日) 9日間 (予定)

日次	月・日・曜	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事
1	9/21 (土)	羽田発 ミュンヘン マンチェスター経由 ランカスターへ	NH 217 LH 2500 車	22:55	羽田空港 発	機内食
2	9/22 (日)			6:50	ミュンヘン空港 着	朝 × 昼 ○ 夕 ○ ランカスター泊
		8:50	ミュンヘン空港 発			
		9:55	マンチェスター空港 着 ランカスターへ移動 (車で1時間ほど)			
3	9/23 (月)	ランカスター発 グロスターへ	Avanti West Coast C27832 Cross Country G25162	17:00	ランカスター駅 発	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○ グロスター泊
				19:06	バーミンガム・ニューストリート駅 着	
				19:30	バーミンガム・ニューストリート駅 発	
				20:23	グロスター駅 着	
4	9/24 (火)	グロスター発 ロンドン経由 ウィーンへ	OS 456	19:30	EDFエナジー社 訪問	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○ ウィーン泊
				22:40	ヒースロー空港 発 ウィーン国際空港 着	
5	9/25 (水)	ウィーン発 ブダペストへ	OS 717	21:40	世界核セキュリティ協会 WINS訪問	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○ ブダペスト泊
				22:25	ウィーン国際空港 発 リスト・フェレンツ国際空港 着	
6	9/26 (木)	ブダペスト			Paks 原子力発電所 訪問 訪問	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○ ブダペスト泊
7	9/27 (金)	ブダペスト			ハンガリー原子力庁 HAEA 訪問	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○ ブダペスト泊
8	9/28 (土)	ブダペスト発 ウィーン経由 成田へ	OS 714	11:20	リスト・フェレンツ国際空港 発	朝 ○ 昼 × 夕 × 機内食
			OS 51	12:05	ウィーン国際空港 着	
				13:30	ウィーン国際空港 発	
9	9/29 (日)			8:50	成田空港 着	

* 上記日程の記載内容は予定であり、訪問先を含め、今後変更になる場合があります。

参加費に含まれるもの

I) 旅行上の諸費用

- 団体エコノミークラス航空運賃
- 燃油特別付加運賃、空港税等
- ホテル宿泊費（税・サービス料含む）
- 食事代（日程記載分。飲物は含まず）
- 現地陸上交通費（空港・ホテル・視察先への車代、ガイド代、列車代、チップ代等）
- 会議参加費及び施設等見学費
- 団長・通訳・プロジェクトマネージャー同行費用

II) 現地諸機関折衝及び手配料

- 現地 手配費用
- 現地 事前打合せ出張等諸費用

III) 企画・運営業務費など

- 企画運営費及びコーディネート費
- ツアー管理費
- 事前打合せ会/調査関連資料提供費
- 調査報告書作成費 他

参加費に含まれないもの

原則として左記以外は含まれません。その一部を例示します。

- 渡航手続き諸費用（旅券取得費用、渡航手続取扱料金等）
- 個人的経費（電話代、クリーニング代、チップ、飲み物代等）
- 集合時及び解散後の交通費
- 超過手荷物料金
- 任意の海外旅行傷害保険費用
- ご自身の障害・疾病に関する医療費

お客様のご都合によるキャンセル規定（特別キャンセル規定）

- お申し込み後、旅行開始日の前日から起算して31日目にあたる日までの取消料：お申込金 35万円、及び航空券・宿泊料金などのキャンセル料の実費（旅行社等支払分）
- 旅行開始日の前日から起算して30日目に当たる日以降から旅行開始3日前までの取消料：参加費の50%、及び企画手配料 10万円
- 旅行開始日の前々日以降の取消料：参加費全額

詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

その他

- ◆ 参加費は、2024年3月末日時点の運賃及び5名以上の参加者数に準拠したものです。ご出発前に、参加人員や燃油特別付加運賃に大幅な変更があった場合、参加費用や参加条件が変更になる可能性もございますので予めご了承下さい。

参加における注意事項

■ 海外旅行保険について

ご出発前に、特に以下の点をご考慮の上、海外旅行保険にご加入頂けますよう、お願い申し上げます。

所属先企業としてご加入されている場合は、事前に補償内容についてのご確認をお願い致します。

- 提携病院の有無（あればその病院名、住所、通訳サービスの有無、医療費一時支払必要性の有無など）
- 飛行機が遅延した際の費用保障
- 保険会社名、保険加入番号、緊急時連絡先
- 補償限度額（入国時に、補償額への条件を設けた海外旅行保険加入を義務付けている国がございます）

■ 渡航前準備について

訪問先の入国時に、査証が必要となる場合がございます。

査証取得のお手続き、費用のお支払い等については、ご参加者様ご自身にてお願い致します。

詳細につきましては、事務局にお問い合わせください。また事前打ち合わせ会でも、詳しくご説明する予定です。

一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

会長	村上 雅人	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 監事、芝浦工業大学 元 学長、工学博士
顧問	野々内 隆 斎藤 信男 松井 一秋	元 通商産業省資源エネルギー庁 長官元一般財団法人経済産業調査会 理事長 慶應義塾大学 名誉教授 工学博士 一般財団法人エネルギー総合工学研究所 研究顧問
理事	井戸田 勲 梶原 豊 浮舟 邦彦 内藤 香 林道 寛	一般社団法人日本技術者連盟 専務理事 高千穂大学 名誉教授 経営学博士 学校法人滋慶学園 総長 Ph.D. 元 公益財団法人核物質管理センター理事長 元 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 バックエンド推進部門長

主催 : 一般社団法人日本技術者連盟 (Japan Engineers Federation : JEF)
総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. : ATTO)
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号
TEL : 03-6229-1946 (JEF) / 03-6229-1950 (ATTO)

『欧州における原子力発電所のセキュリティ調査団』

参加申込書

一般社団法人 日本技術者連盟 (JEF) 行

フリガナ			
会社名・団体名			
所属名/役職名			
フリガナ	生年月日	西暦	年 月 日
参加者氏名			
パスポート記載名 (ローマ字 姓名)	英文表記名 (Mr. Ms. Dr. Ph.D.なども記載)		
E-mail	携帯電話番号		
勤務先	ご住所 〒 -		
	電話番号	FAX番号	
ご自宅	ご住所 〒 -		
	電話番号		
フリガナ			
担当責任者名 今回の参加について 状況をご存知の方	印		
所属名/役職名			
電話番号/E-mail			
旅券（パスポート）について：今回の旅行に必要な旅券をお持ちですか。（日本帰国日より3ヵ月以上の残存期間が必要）			
① はい	旅券番号：	有効期限	西暦 年 月 日
② いいえ	取得予定日	2024 年 月 日	
強いアレルギーなど ございますか	なし・あり（ ありの場合、対象物、アレルギーの程度を具体的にお知らせください		
語学力	英語について 問題あり・なし、TOEFL点数など ()	英語以外に、お使いになれる言語がございますか？ ()	
通信欄 ご質問・ご希望等	マイレージをお持ちの方は番号をご記載ください（例 JAL 1234567、ANA 2345678 他）		

個人情報保護方針

旅行申込書にご記入いただく、氏名、年齢、生年月日、電話番号、メールアドレス、住所、勤務先等の情報は「個人情報」に該当しますので、企画主催・企画実施・取扱旅行社・総合事務局は以下に掲げる個人情報の取扱いに関する基本方針及び個人情報に関して適用される法令を遵守して、お客様に関する個人情報の適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。

1. 個人情報保護利用の目的

お客様がお申し込みになられた運送、宿泊その他の旅行に関するサービス（以下「旅行サービス」といいます）を手配するために必要な範囲で情報を利用いたします。また、旅行サービス提供機関に対し、お客様の氏名、パスポート番号及び現地滞在先等をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供します。

2. 個人情報の開示・提供

下記の場合を除き、お客様からお預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。

ア. ご本人の同意がある場合

イ. 旅行サービス提供機関や販売店の手配業務委託先に、旅行サービス手配に必要な最小限度の情報を開示・提供する場合。

ウ. 法的な命令等により個人情報の開示・提供が求められた場合。

3. 個人情報に関するご質問、又はご意見は、総合事務局にてお受けいたします。

企画主催：一般社団法人日本技術者連盟

<http://www.jef-site.or.jp> / <http://www.wkx21c.org> / E-mail : gyomu1@jef-site.or.jp

総合事務局：株式会社アジア技術移転機構

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL : 03-6229-1950

FAX : 03-6229-1940